

4.1 - Kurt Tucholsky School, Krefeld



Address:

Alte-Gladbacher-Straße 10
47805 Krefeld - Germany

Task:

学校 (学生数 1200 名)

Architects:

Peter Busmann, Godfrid Haberer, Manuel Reig

Year of construction:

1992-2002

約 1200 名の学生の教育を担う学校で、10 年の歳月をかけて建設された。

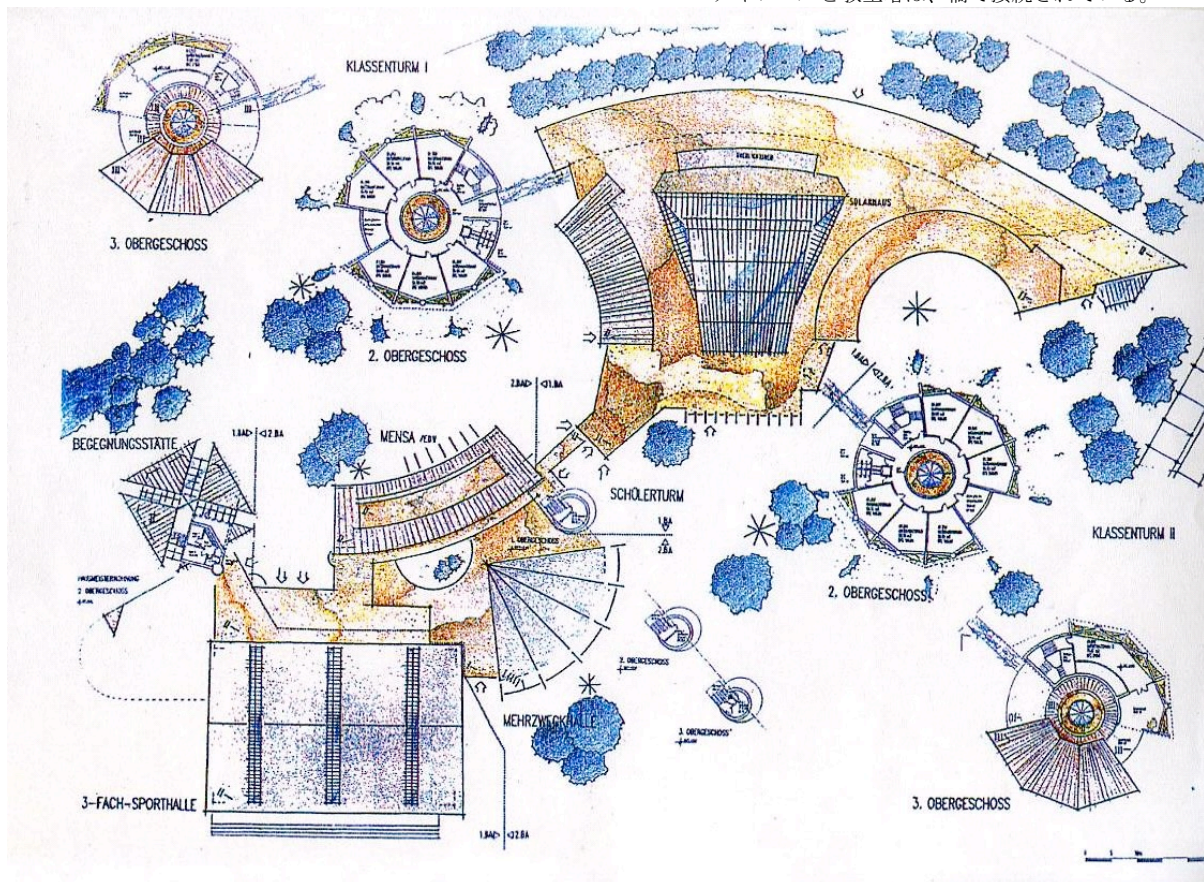
校内には、特殊な環境保護対策が施されており、その 80% がノータンヴェストファリアのモデルプロジェクト「将来の環境保護都市 (German Modellprojekt, 'Ökologische Stadt der Zukunft')」からの助成金で賄われている。残りの 20% は、クレフェルト市が調達している。これにより、不渡りになる可能性のあった次のような環境保護手形の換金が可能になった。

- 太陽熱発電装置および屋上緑化システム
- 体育館の壁内に取り付けた温度制御システム
- 屋上の上屋の窓に取り付けた反射器

ソーラーホールは、校舎の中心に位置し、その中央には植物が植えられている。ホールを取り囲むようにして、職員室、実験室、学食などがある。教室は 2 棟の塔に分けて配置されており、それらの塔はメインビルと橋で接続されている。



メインビルと教室塔は、橋で接続されている。



More: www.kurt-tucholsky-gesamtschule.de

4.2 -自由ルドルフ・シュタイナー学園, ハーン・グリュイテン



Address:

Freie Waldorfschule Haan-Gruiten

Prälat-Marschall-Straße 34

42781 Haan - Germany

学校の改築と拡張

Task:

Manuel Reig

Architects:

From 1986

Year of construction:

1987年から88年にかけて、一期生である4つのクラスが旧校舎の改築された教室に移動した。学園の歴史では、1998年に最初の生徒が卒業証書（ドイツ語ではAbiturと呼ぶ）を受けたことが注目される。内部外部の改築は、その後も進められた。

2001年に、特殊な建物がスポーツや演劇、行事開催などの多目的ホールとして完成した。

2005年には、実験室や作業室からなる、学校の第三施設を建てる工事が始まった。

さらに1997年、ヴァルドルフ幼稚園が設立された。われわれの学園はいまだ未完成で、つねに成長と変化を続け、多くのアイデアがその実現を待っている。



教室



Blick vom Pausenhof auf den Haupteingang mit der geschwungenen Pergola vor dem Baukörper



Blick von der Prälat-Marschall-Straße. Links oben Gauben- und Glasdachfenster des Eurythmiesalles und der Treppenhausbelleuchtung, rechts: Musikräume, Lehrerkonferenzraum und Hort



新しい施設の外壁は漆喰で固めた石造り(49 cm)。ホールの床にはリノリウムを、階段室と休憩ホールには花崗岩を使用している。教室の床は広葉樹材による寄木細工(標準寸法)。窓枠とドアは木製である。



休憩ホール



階段室

More: www.fwshaan.de

4.3 – Der's Richter, ランゲンフェルト



Address:

Haus Der's Richter
Mönchherder Weg
Langenfeld- Germany

Task:

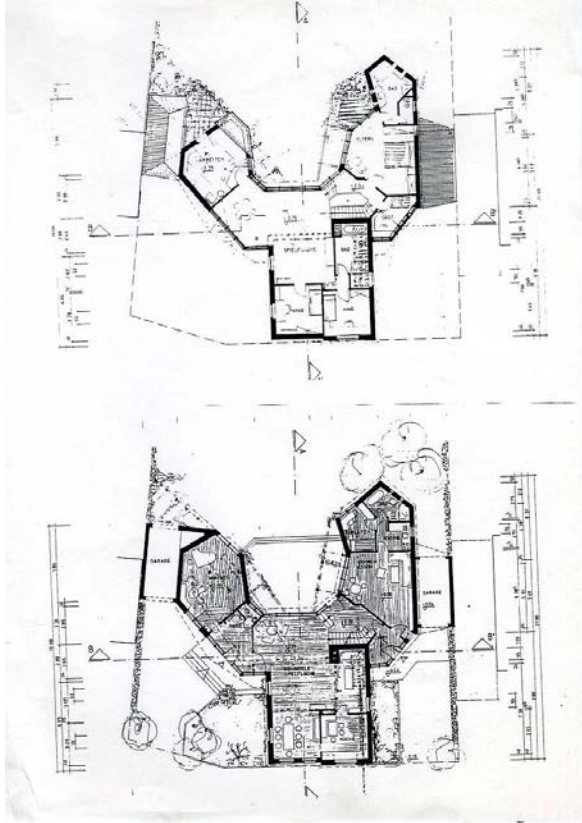
家族用住宅

Architect:

Manuel Reig

Year of construction:

1985



More: Arch.Manuel Reig, Obmettmann 27A, 40822 Mettmann, T 02104/12122, info@architekt-manuel-reig.de

4.4 – ネヴィゲス „Maria, Königin des Friedens“, (フェルベルト)



Address: Franziskanerkloster Neviges
Elberfelder Strasse 12
42553 Velbert - Germany

Task: 巡礼教会

Architect: ゴットフリート・ベーン

Year of construction: 1963-1968

この巡礼教会は、1963年から1968年までの期間にドイツの著名建築家ゴットフリート・ベーンにより岩のドームとして建設された。同氏は、現在のところ、世界で最も権威のある建築賞であるプリツカー賞を受賞した唯一のドイツ人である。

ネヴィゲスの屋根(鉄筋コンクリート)は、標識としての役割を果たしており、「間もなく到着」することを教えてくれる。

窓にはめ込まれた着色ガラスは、教会の全体的なイメージを表わしている。また、キリスト教の重要な象徴を再現、あるいは思い起こさせる。

敷石とランプは、屋内外で同じものが使われており、「手段と目標」は同意であるという思想を裏付けている。



(http://commons.wikimedia.org/wiki/File:Neviges_Mariendom.jpg)



屋内スペースと窓の着色ガラス

More: www.mariendom.de

豆知識

1997年、1945年以降に建造されたドイツの多様な建築作品に敬意を表して、4枚一組の切手が発行された。

切手には、次の建築作品が印刷されている。

- ベルリンフィルハーモニーのコンサートホール (Hans Scharoun)
- ベルリン新国立美術館 (Ludwig Mies van der Rohe)
- ネヴィゲス (Gottfried Böhm)
- モントリオール万博のドイツパビリオン (Frei Otto)



(<http://philatelie.deutschepost.de/philatelie/informationen/archiv/jahrgaenge/97/970301.jhtml>)